

地域を守る決意を新たに

消防出初式

安全で安心な暮らしのため、地域に密着した活動が続ける消防団と消防署員900人が参加して、旭市消防出初式が1月10日、旭スポーツの森公園芝生広場で開かれました。

式では、伊藤市長の式辞、木内消防団長のあいさつの後、人員・服装点検、車両と徒歩に分かれての分列行進が行われました。続く各方面隊の代表部による一斉放水では、色鮮やかな8色の水が新春の空に大きなアーチを描くと、周囲で見ていた人からも拍手や歓声が起こりました。

なお、長年消防活動に尽力された172人と消防技術の向上に貢献された4部に、表彰状や感謝状が贈られました。主な受賞者を紹介します。(敬称略。また、各方面隊は略して表記してあります。例：旭方面隊＝旭)



▲消防団員による徒歩行進

【千葉県知事表彰】

功労章／菅谷光夫（団本部本部分団長）

精勤章／石井弘幸（干潟副隊長本部分団長）、石毛庄市（飯岡第1分団分団長）、林三郎（消防本部指令課副主幹消防司令補）、鈴木由巳（干潟分署第1小隊長消防司令補）

【千葉県消防協会会長表彰】

功労章／杉崎隆之（干潟第2分団分団長）、菅谷武明（干潟第2分団副分団長）、千本松等（飯岡第1分団第2部団員）

精勤章／嶋田幸生（海上第1分団分団長）、齊藤昇（旭第1分団第1部部長）、渡邊喜裕（海上第1分団第3部部長）、平野哲徳（海上第2分団第2部部長）、木内政利（海上第2分団第3部上級班長）、加藤高士（飯岡第3分団第1部上級班長）、堀川政雄（海上第2分団第3部班長）、向後勝一（飯岡第1分団第1部団員）、椎名弘晃（海上分署救急小隊長消防司令補）、大橋和善（飯岡分署救急小隊長消防司令補）、宮崎喜久（干潟分署救急小隊長消防司令補）



▲新春の空に色鮮やかな水が弧を描く

飯岡F Cが低学年の部で優勝

匝瑳市少年少女サッカー交流大会

第3回匝瑳市少年少女サッカー交流大会が11月30日、匝瑳市野手浜総合グラウンドで開かれ、低学年・高学年の部に飯岡F CやF Cあさひなどそれぞれ12チームが出場し、熱戦を繰り広げました。決勝戦は、低学年・高学年とも飯岡F C対のさかF C(A)の組み合わせとなり、白熱した試合を展開した結果、低学年の部で飯岡F Cが勝利を収めました。



▲優勝を喜ぶ飯岡F Cのメンバー（低学年の部）

連日の大盛況

食彩の宿いおかでランチバイキング



▲たくさん並べられた料理。どれにしようかな

食彩の宿いおかのグラントオープンを記念して、12月10日から16日までランチバイキングが行われ、市内外から延べ1,150人が、地元産の食材を中心とした料理を味わいました。土・日曜日などはすぐに満席となり、しばらく待っていただくほどの盛況ぶり。市外から来た家族連れも、「料理はおいしいし、好きなものをたくさん食べられてうれしい」と話してくれました。

プロ野球選手らが熱血指導

第3回黒潮野球教室

銚子商業高校と市立銚子高校出身のプロ野球選手16人が、12月21日、海上コミュニティ運動公園野球場で野球教室を開催しました。教室には海匝地域と東庄町、神栖市から、39チーム250人の小中学生とその指導者が参加し、元西武ライオンズの石毛宏典選手を中心とした往年のプロ野球選手などから、走塁や守備、バッティングなどの指導を受けました。練習中、石毛選手は、「話をしている人の目を見ること。話は目で聞くもの。そういう基本的なことができないと、野球もうまくなれないし、勉強もできないぞ」と一喝。その言葉に子どもたちのまなざしも、一層真剣になっていきました。



◀石毛選手の熱血指導に子どもたちも真剣そのもの！

新春を飾る力作491点

第4回子ども会書初め展



◀お目当ての作品を見つけほぼ笑む来場者

1月18日から24日まで、海上公民館で子ども会書初め展が開催され、市内小学生の書いた作品491点が展示されました。特別賞を受賞した作品の中には、練習のために600枚も書いたという力作もあり、訪れた人たちを感心させていました。25日には表彰式が行われ、各学年の最も優秀な作品に特別賞が贈られました。市長賞／飯島将輝（6年・琴田子ども会）、市議会議員賞／宮員和夏（5年・松沢子ども会）、教育長賞／日下夏綺（4年・岩井子ども会）、文化協会賞／加瀬祥吾（3年・後草子ども会）、青少年相談員会長賞／齊藤優紗翔（2年・袋東部子ども会）、子ども会会長賞／高木彩加（1年・新田子ども会）※敬称略

茅野市とバドミントン交流

飯岡体育館

旭市と姉妹都市を結んでいる茅野市のジュニアバドミントンクラブが、設立10周年を記念して、12月13日、飯岡体育館を訪れ、市内小中学生のバドミントンクラブと交流試合を行いました。試合は、それぞれのペアを入れ替えるなど、和やかな雰囲気の中で行われ、試合後には、記念のプレゼントを交換しました。



◀和気あいあいでも試合は真剣

中卓球女子2人が全国大会出場



◀林めぐみさん（1年・右）と加瀬涼華さん（1年・左）

1月11日・12日の2日間、千葉県総合運動場体育館で、第61回東京卓球選手権大会千葉県予選会が行われ、女子カデット（中学2年生以下）シングルの部で優勝した林めぐみさんと上位入賞を果たした加瀬涼華さんが全国大会出場を決めました。全国大会は3月14・15日、東京体育館で行われ、各都道府県から勝ち上がった強豪たちと対戦します。

心ひとつに息の合った演奏を披露

ニューイヤー吹奏楽の祭典

1月18日、東総文化会館でニューイヤー吹奏楽の祭典が行われ、市内から三川小学校と第一中学校の吹奏楽部が出演しました。ステージでは、学校ごとの演奏のほか、第一中学校が横芝中学校と、三川小学校が市立銚子高校とそれぞれジョイント演奏を行いました。このステージに向け、市立銚子高校と合同練習をしてきた三川小学校の児童は「練習は、とても楽しく、たくさんのことをやさしく教えていただきました」と練習の様子を紹介。ステージ上でも、高校生がパートごとに子どもたちの間に入り、リードしながら息の合った演奏を披露しました。



▲市立銚子高校と一緒に演奏する三川小吹奏楽部